

中学校区におけるめざす子ども像

自分の目標と夢をもち、互いの個性を認め合える子

令和6年度 重点目標

何にでもチャレンジ！何度でもチャレンジ！笑顔でチャレンジ！東三国丘っ子！

ー考える子 やりぬく子 助け合う子ー

一人のために みんなで 頑張る 東三国丘っ子 教育は、「深い子ども理解」・「保護者理解」・「地域理解」からスタート

「確かな学び」の現状

今年度は、「語り合い、深め合える力の育成」をテーマとして取り組むことにした。「書く」という活動に苦手意識をもっている子どもや語彙力の低さから自分の気持ちを言語化することが難しい子どもが多いことが昨年度の反省で分かった。そこで、ペア活動やグループ活動を中心に言いつばなしの話し合い活動にならないような取り組みを各学年の実態に合わせて考え、子ども同士がつながり合うような場面をたくさん創っていきたいと考えている。

「豊かな心・健やかな体」の現状

自己肯定感の低さにまだまだ課題がある。学校教育アンケートでは、少し改善が見られた学年もあるが、自分に自信が無い子どもや失敗を恐れている子どももまだまだ多いと感じる。また、不登校傾向の児童も多く、生徒指導主事や学級担任を中心に児童や保護者へのアプローチを続けているが、増加傾向にある。学級担任は細かく連絡を取り、連携を図ってくれている。児童に学校での居場所があることを意識させていきたいと考えている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組（●重点とする取組、★中学校区での取組）	判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認 （～10月）	達成状況（年度末）	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学力向上	「つながり合う・伝え合う子ども」～語り合い、深め合える力の育成～	・表現力育成の手立てとしてタブレットを授業で活用する。	・タブレットの活用に関する児童アンケートの肯定評価を80％以上にする。	学習観察 児童アンケート	随時 年度末	○ 1学期末に情報活用チェックシートを活用し、各学年の活用状況を確認した。そのうえで、普段の授業での活用を進めている。	○ 児童アンケートでは、自分の思いや考えを表現するためにタブレットを活用しているという項目はどの学年も概ね80％以上だった。ただ、活用状況を見ていくと、教職員、児童共に知識と技能を習得し、活用していく場面がまだまだ必要であると考えられる。	○ ちゃんと全学年がするというのは素晴らしいと思います。先生方も自己研鑽に励んでいただき、よりよい教育につなげていただけたらと思います。先生方全員1回は研究授業を行うのもスキルの向上になると思います。タブレットも1年生から使っているのでスキルの向上につながっていると思います。効果的に使われるようになるとういと感じています。
			●学年の実態に応じた表現力を育成するための授業の実施する。また、そのために必要な手立てを共有する。	・各学年で、研修テーマに沿った目標を設定し、1年間実行したことをまとめ、報告する。 ・表現力（「話すこと・聞くこと」）に関するアンケートで肯定評価を80％以上にする。	学習観察 児童アンケート 教職員アンケート	随時 年度末	○ 5月に各学年で研修テーマに沿った目標（めざす子ども像）とそのための支援・手立てを設定し、報告会を行った。1学期の終わりには、目標に対して取り組んだこと・成果・課題を報告する会を開いた。各学期の終わりに開催を予定している。	○ 各学年で、研修テーマに沿った目標を5月に設定し、学期ごとに報告会を行うことで、学年に応じた「表現力」を育成していくことの成果と課題を意識して1年間取り組むことができた。 アンケートでは、各学年の目標に沿ったアンケート項目で判断した。 1年：83％ 2年：92％ 3年：82％ 4年：88％ 5年：86％ 6年：83％であった。 教職員アンケートで、「研修委員会が決めたテーマについて校内研修が進んでいる」の項目で、肯定的評価が100％であった。	○
			・授業力向上のため全教職員が公開授業を実施する。	・全教職員が公開授業を実施する。	公開授業	随時 年度末	○ 年度初めに公開授業の予定を各自立てて、授業を行っている。現状70％の教員の公開授業を終えた。今年度は、若手研修として1校目の教員を中心に主体的研修を行っている。	○ 全教職員が、公開授業を行った。 校内研修・主体的研修が教育実践に役立つ内容であったかの教職員アンケートの肯定的評価が97％であった。	○
豊かな心・健やかな体	特別支援教育	全員に出番と居場所のある学習づくり	・堺版授業スタンダード（ユニバーサルデザイン）を推進する。 ・一人ひとりの子どもの特性に合わせた合理的配慮を推進する。	・堺版授業スタンダード（ユニバーサルデザイン）をすべての学級で実施し、向上する。 ・全員に出番と居場所がある学習に関する教職員アンケートの肯定評価を80％以上にする。	学習観察 教職員アンケート	年度末	○ 特別支援の観点に基づき、ユニバーサルデザインを意識した環境づくりや、児童一人ひとりの特性に合わせた合理的配慮・学びの場が考えられるよう特別支援の研修を行った。	○ 教職員アンケートでは、堺版授業スタンダードを意識して取り組んでいる88％、配慮が必要な児童への対策を学校全体で行っている91％、学習指導を個に応じた視点で工夫して行っている92％と、一人ひとりの子どもを意識した環境づくりや授業づくりが行えた。	○ 中学校への引き継ぎもきちんとしていただけているのであれば、安心です。特別支援教育コーディネーターも3名いるので相談体制もとれているのではと思います。
	豊かな心の育成	全員に出番と居場所のある学級づくり	★豊かな心（自己肯定感）を育てるため、学年で統一した取り組みを実施する。 （席替え時に手紙交換など）	・豊かな心（自己肯定感）に関する児童アンケート肯定評価80％以上にする。	状況報告 児童アンケート	年度末	○ 人権の取り組みを各学年で実施し、席替え時の手紙交換や友だちのいいところ見つけをするなど、多様性を認め合える集団をめざして取り組んでいる。	○ 各学年の実態に応じた取り組みを行った。学期末には教職員でどのような取り組みを行っているか、共通理解を行った。 児童アンケートの結果では、概ね80％以上の児童が自分には良いところがあると自己評価できていたが、高学年になるに従って、下がっていた。	○ 研究授業などでも育ててきているのが伝わりましたし、心を育てるのが大事なことだと思います。保護者側から見ても安心します。掲示してもらおうと喜んでます。
			いじめがおりにくい学校・学級づくり	●いじめを見逃さない、よりよい仲間づくりのための取り組みを実施する。（月1回の生活アンケート、iシステムの活用、子どもの観察、子どもを知る会など）	・仲間づくりに関する保護者アンケート肯定評価80％以上にする。	保護者アンケート	年度末	○ 毎月のアンケートに加え、学期に1度、より細かいアンケート、またアンケート後の全員への聴き取りを実施し、いじめの早期発見や迅速な対応に努めることができています。 登下校時の門での挨拶、校内巡回で児童の様子を毎日観察することができた。また、週1回の職員夕礼で気になる児童の様子やトラブルの内容を報告し、職員全体でこまめに情報共有できている。	○ 生活アンケートやiシステムを活用し、いじめ問題やトラブルが起こった際にはすぐに情報共有し、複数人で対応することができた。また、職員夕礼などで児童の様子をこまめに共有することによって、同じ方向性で指導にあたることができた。 保護者アンケートの仲間づくりに関する項目は、肯定評価が80％以上であった。
豊かな心・健やかな体	生徒指導	いじめがおりにくい学校・学級づくり		・たてわり、児童会活動の充実を図る。	・たてわり活動やヒガミクフェスティバルを通して、全児童が集団の一員として活動することの楽しさや喜びを味わい、全児童へのアンケート肯定評価80％以上にする。	児童アンケート	年度末	○ 月に1～2回程度、たてわり集会を実施し、児童が学年の垣根を越えて交流できている。6年生を中心に遊びを計画し、進行することによって、親交を深められていると感じる。 11月にヒガミクフェスティバルの実施を予定している。各クラスで協力して準備を進めている。	○ たてわり活動やヒガミクフェスティバルを実施し、児童会活動を充実させた。1～5年生はアンケートの肯定評価が90％を超えた。6年生に関しては負担が大きく、肯定評価が6割程度にとどまった。責任感をもって行動はできたが、リーダーとしての役割は負担が大きく、来年度は内容の検討が必要と思われる。 全校での取り組みを朝礼やポスター作製で啓発したり、募金活動も行うなど、積極的に活動できた。
			子ども自らが、健康に生活することができる能力や態度の育成	・体育科の学習を中心として計画的な体力向上プランを実施する。 ・食育、眠育を軸とした健康に関する取り組みを実施する。	・全教員に実施確認する。 ・健康に関するアンケートの肯定評価を80％以上にする。	状況報告 児童アンケート	年度末 年度末	○ 本年度より水泳を開始することができた。また体力づくりをするために、なわとび検定と持久跳びの取り組みを実施している。 ○ 栄養教諭による朝の食育の学習を実施中であり、今年度より生活習慣チェックシートを毎学期実施している。	○ なわとび検定や持久跳びは全学級で実施した。来年度はより水泳の授業を充実させる。 ○ バランスの取れた食事になるよう努力している児童が86％、9時間以上寝ている児童が69％となった。引き続き、生活習慣チェックシート等を活用し、睡眠時間を確保するよう継続していく。
地域協働	地域の連携	ひろがる教育の推進		・堺版コミュニティ・スクールを推進する。	・地域やコーディネーターと連携し、協議する「学校協議会」を年間3回開催し、学校力向上に取り組み、説明責任を果たす。	実践報告	各学期	○ 学校協議会を6月、11月、2月の3回の開催を予定している。学習参観など実際に来校していただいて、児童の様子を踏まえたご意見を聴かせていただく予定になっている。	○ 計画通りに年3回実施できた。学校保健給食委員会も集合型で実施して、校医さんと保護者の方との交流も行うことができた。

校長より（年度末）

・子どもたちは目標である「チャレンジ」ということを意識して活動できるようになってきたように思う。これからさらに失敗しても何度でも楽しんでチャレンジできる子どもたちの育成をめざしていきたい。笑顔で元気なあいさつをして登校してくる子どもたちが増えてきている。学校がより楽しい場になるように教職員一同さらに頑張っていきたい。

学校関係者評価者から（年度末）

学校の新校舎の完成、運動場の完成など早くできるとうれしいと思います。いじめのない学校づくりを心掛けてほしい。